



Integrating
the Healthcare
Enterprise

事前検証について

一般社団法人日本IHE協会
接続検証委員会
渡口聡則

事前検証ツールとは

コネクタソン前に機器の接続性を検証しておくためのツール

IHEJ各プロファイルを模した通信・検証モジュールの集合体

検証するシナリオ・電文データはコネクタソン本番で利用するものと同ー[1]

[1] 一部事情により例外がございます。

事前検証ツールの対象範囲

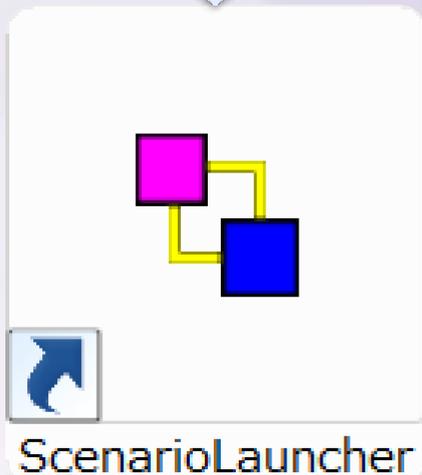
- 対象となるドメイン
 - RAD
 - CARD
 - LABO
 - ENDO
 - PCD
 - ITIの一部(PAM/PDQ/PIX)

※上記以外のドメイン(ITIのその他、RO)につきましては別のツールにて事前検証を実施致します。

事前検証ツール：ご利用の流れ

①起動：

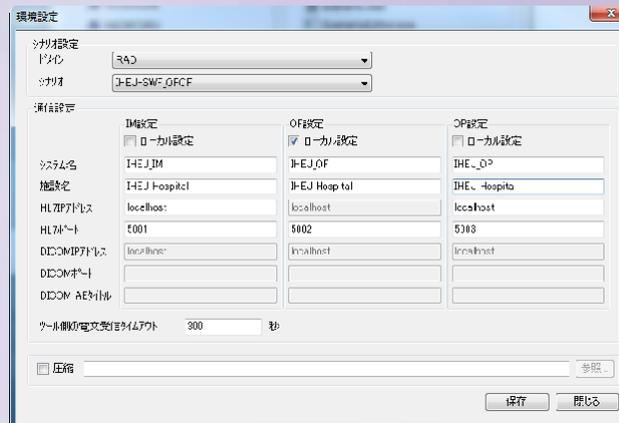
要件を満たすPCにインストール後起動



ScenarioLauncher

1

起動



2

環境設定



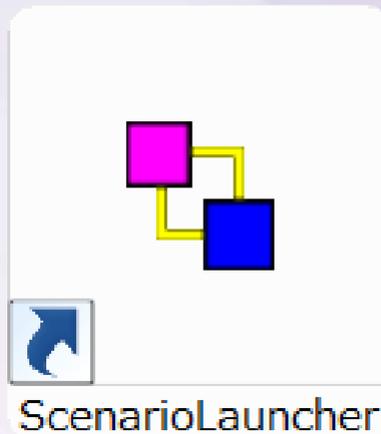
3

検証実施

事前検証ツール：ご利用の流れ

②環境設定：

参加するシステムの「ドメイン」「シナリオ」「アクタ」を設定します。



1 起動



2 環境設定

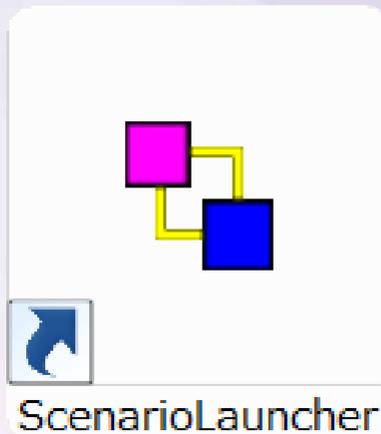


3 検証実施

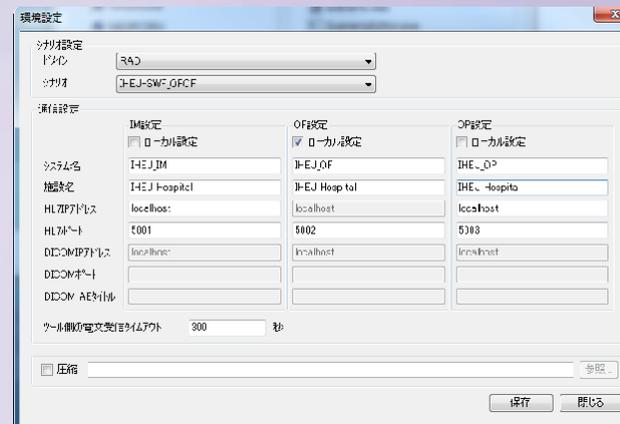
事前検証ツール：ご利用の流れ

③検証実施：

シナリオに沿い、実際に通信を行いながら検証を進めます。



1 起動



2 環境設定



3 検証実施

事前検証ツール：ご利用の流れ

3 検証実施

ツールは受信役

現在受信待ち

受信後
検証結果を確認

検証の進行

ScenarioLauncher

事前検証ツール ヘルプ

テスト設定
 シナリオ [IHE J-SWF_OPOF]
 システム側 アクター [OP] HL7IPアドレス [localhost] HL7ポート [5003] DICOMIPアドレス [localhost] DICOMポート [] DICOM AEタイプ []
 テストツール側 アクター [OF] HL7IPアドレス [localhost] HL7ポート [5002] DICOMIPアドレス [localhost] DICOMポート [] DICOM AEタイプ []

No	種別	送信アクタ	受信アクタ	説明	状態	オプション	通信内容
1	HL7v2	OP	OF	OPがOFへHL7 OMGメッセージを用いてオーダーを通知する	受信待ち	R	-
2	HL7v2	OF	IM	OPから送られたオーダー情報を元にOFがIMへオーダー情報を送信する	-	R	-
3	HL7v2	OP	OF	OPがOFへHL7 OMGメッセージを用いてSTEP1オーダーのキャンセルを通知する	-	R	-
4	HL7v2	OF	IM	OPから送られたキャンセルオーダー情報をOFがIMへ送信する	-	R	-
5	HL7v2	OP	OF	OPがOFへHL7 OMGメッセージを用いて先ほどとは異なるオーダー種で検査を通知する	-	R	-
6	HL7v2	OF	IM	OPから送られた修正オーダー情報をOFがIMへ送信する	-	R	-
7	HL7v2	OF	OP	OFからOPへ患者の到着を通知する	-	R	-

事前検証ツール：その他の機能

- 電文エクスプローラー（HL7）

HL7v2 Explorer (C:\temp\OMI\200907130002-2.HL7)

ファイル(E) 設定(C)

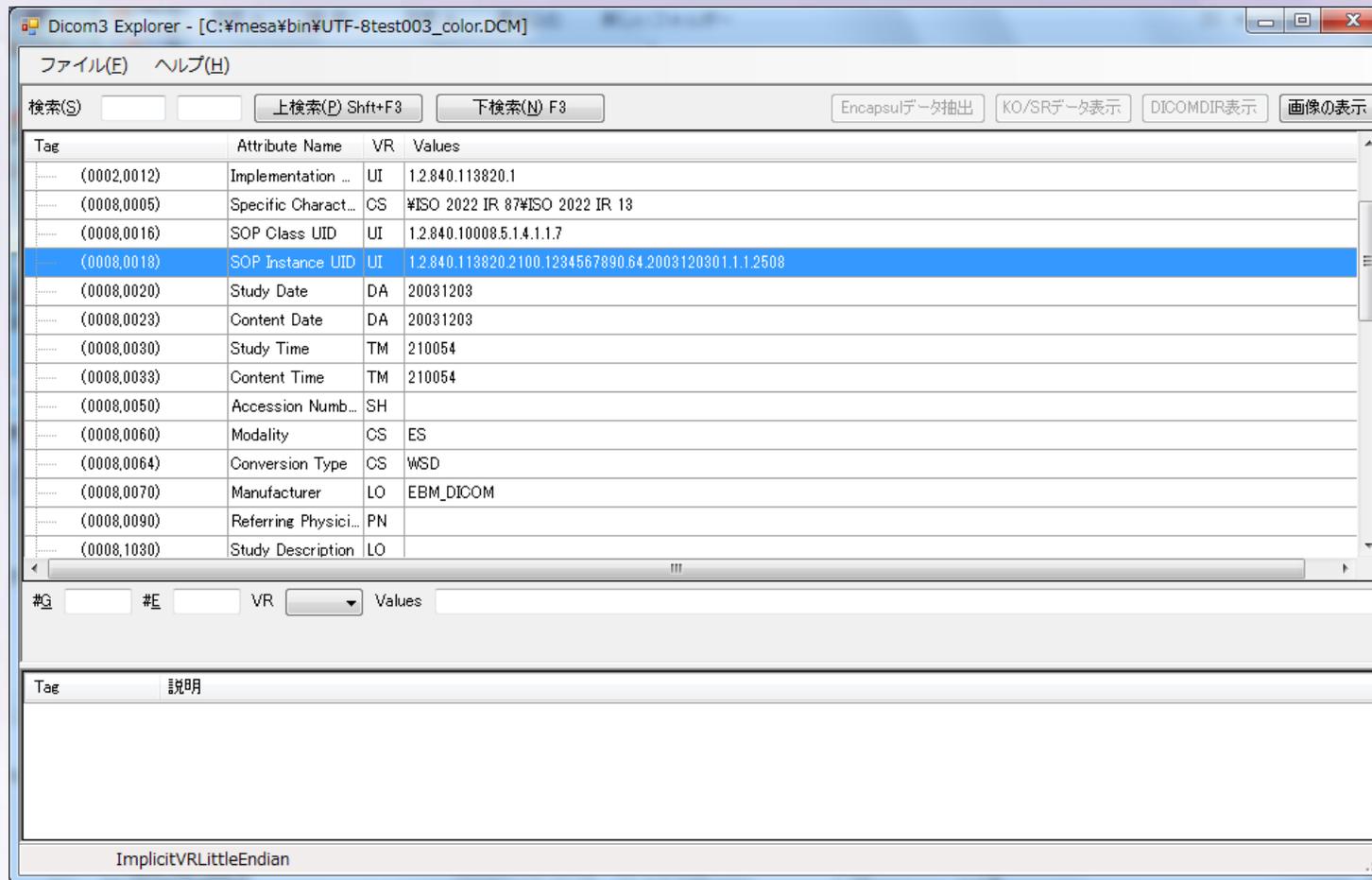
No	値	フィールド名	DT	オプショ	RP	メッセージ
1		セットID - 患者ID	SI			
2		患者ID(外部ID)	CX			
3	P-200906001	患者ID(内部ID)	CX	R	Y	
4		代替患者ID	CX		Y	
5	ヤマダタロウ~~~~L~P~Yamada~Tarou01~~~~	患者氏名	XPN	R	Y	
6		母親の旧姓	XPN		Y	
7	19750510	生年月日年齢	TS	R		
8	M	性別	IS	R		
9		患者別名	XPN		Y	
10	BL	人種	CWE		Y	
11	東京都港区虎ノ門1-19-9~~~~1050001~	患者住所	XAD		Y	
12		郡コード	IS			
13		電話番号 - 自宅	XTN		Y	
14		電話番号 - 勤務先	XTN		Y	
15		言語 - 患者	CWE			

位置	LEVEL	説明
MSH	WARN	セグメントの終端に不要なセパレータがあります(MSH ~*~& OF IM 20080909 OMI~O23~OMI~
PID	WARN	セグメントの終端に不要なセパレータがあります(PID P-200906001 ヤマダタロウ~~~~L~P~Ya
PV1	WARN	セグメントの終端に不要なセパレータがあります(PV1 aiueo重意字絵尾アイウエアイウエオ12
PV1-3	ERROR	患者所在場所(PV1-3)のデータ長が80文字を超えています。

PID(患者識別セグメント)

事前検証ツール：その他の機能

- 電文エクスプローラー (DICOM)



The screenshot shows the Dicom3 Explorer application window. The title bar reads "Dicom3 Explorer - [C:\mesa\bin\UTF-8test003_color.DCM]". The menu bar includes "ファイル(E)" and "ヘルプ(H)". Below the menu bar are search controls: "検索(S)", "上検索(P) Shift+F3", and "下検索(N) F3". There are also buttons for "Encapsulデータ抽出", "KO/SRデータ表示", "DICOMDIR表示", and "画像の表示".

Tag	Attribute Name	VR	Values
..... (0002,0012)	Implementation ...	UI	1.2.840.113820.1
..... (0008,0005)	Specific Charact...	CS	¥ISO 2022 IR 87¥ISO 2022 IR 13
..... (0008,0016)	SOP Class UID	UI	1.2.840.10008.5.1.4.1.1.7
..... (0008,0018)	SOP Instance UID	UI	1.2.840.113820.2100.1234567890.64.2003120301.1.1.2508
..... (0008,0020)	Study Date	DA	20031203
..... (0008,0023)	Content Date	DA	20031203
..... (0008,0030)	Study Time	TM	210054
..... (0008,0033)	Content Time	TM	210054
..... (0008,0050)	Accession Numb...	SH	
..... (0008,0060)	Modality	CS	ES
..... (0008,0064)	Conversion Type	CS	WSD
..... (0008,0070)	Manufacturer	LO	EBM_DICOM
..... (0008,0090)	Referring Physici...	PN	
..... (0008,1030)	Study Description	LO	

Below the table, there are input fields for "#G", "#E", "VR", and "Values". At the bottom of the window, the text "ImplicitVRLittleEndian" is visible.

スケジュール

第2回ベンダーワークショップにて以下をご案内いたします。

- デモによる使用方法のご説明
- 具体的な運用方法・手順
- ツールの配布

ツールの配布はWebを予定しております。

またURLにつきましてはメール及びGazelleの告知にてご案内申し上げます。

スケジュール

- コネクタソン参加条件

- 事前検証ツール実施結果の提出

※ 事前検証の実施の有無や扱いにつきましては参加されるドメインの方針に準拠ください。

提出先：Gazelleサーバー

<https://cloud-gazelle-ihej.net/>

- 提出方法：第2回ベンダーワークショップで説明